

学校関係者評価委員による主な意見および今後の手立て

別紙

岐阜県立下呂看護専門学校

評価項目	評価項目ごとの意見	意見に対する今後の手立て
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策により、計画どおりにできない状況の中、対策をたて取り組まれている。</li> <li>・学校経営は学校を運営していく上での基本ですので、職員一体となって取り組んでおられ評価できる。</li> <li>・課題にある職員への結果の共有は、必要なことだと思う。</li> <li>・校長先生中心に、よく努力されているようで良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の学校運営計画に基づき取り組みを行う。</li> <li>・各委員会、係活動の取り組み状況および取り組み結果について、随時職員で共有し学校運営に活かす。</li> </ul>
学科運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染症に係るガイドラインやフローチャートが細かく作成されておりわかりやすい。年度初めがまさかの休校からという事態となり、特に実習においては学生も先生方も心配は尽きなかったことと思うが、その中でも全ての学年で必要な単位取得・終了へ繋がられたことは評価すべき点だと思う。課題にも挙げられている「卒業生アンケートの回収増加と就職病院への調査実施」はダイレクトに学校評価を表すものだと思うので、今年度達成に期待したい。</li> <li>・コロナ禍の中でも臨地実習が行えたことは、日頃から実習施設と良い関係が築けているためと考える。今後も継続されるように努めてほしい。就職病院での卒業生の能力評価は、技術に限らず接遇等を含め是非行われるとよいと思う。</li> <li>・詳しい中身はわからないが、色々な学科があり、確かな力がつくように計画的に指導されていることがわかる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染対策の中、講義実習等の計画、実施は大変だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師・実習施設との連携、感染予防対策の継続により、学生の学習機会確保に努める。</li> <li>・卒業生評価（卒業生および就職病院へのアンケート調査）については、8月から実施方法の検討、11月実施を目指している。今年度は確実に実施する。</li> </ul>
入学対策 卒業対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中学校に向けて、もっと宣伝したり学生が訪問したりすることはできないのか。看護師や福祉関係を希望する中学生は少なくないですが、その中で下呂看のよさを知っている生徒（特に先生）は少ないと思う。専門学校であっても、地域の学校として、もっと積極的に周知するとよいと思う。</li> <li>・県内就職率を高める取り組みの継続と、地域の学生が増加することを期待する。</li> <li>・ホームページをスマホで見た時「下呂看護専門学校の紹介」が一番下の項目となっている。入学する学校選択の参考に見る人が多いと考えると、最大のアピールポイントが上の方にあった方が良いのではないかとと思う。全体的に文字が多く「堅い」イメージのHPになってしまうのは「県立」だから仕方ない部分もあるかもしれないが、学生の興味は引きつけにくい感じがする。</li> <li>・退学者の主な退学理由はなにか。学生の問題もあると思うが、傾向が分かるとよいと思う。</li> <li>・国家試験の全員合格になる事を期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に下呂市内の小中学校を対象に出前授業の案内を配布し、6月までに小学校から1件の問い合わせがあった。それ以外に中学校から「中学生が参加できる看護体験はないか」と問い合わせがあった。当校の存在や活動が地域に広がりつつあると感じている。夏季休暇中に学校見学会を計画している。高等学校に限らず、中学校へも案内を出す予定である。</li> <li>・今年度はホームページのリニューアルに力を入れている。在校生、受験生、卒業生、保護者・地域の方々に興味を持ってもらい、それぞれの目的が果たせるような内容となるよう取り組みを継続する。</li> <li>・退学者の退学理由についてのまとめは今後検討する。</li> </ul>

評価項目	評価項目ごとの意見	意見に対する今後の手立て
学生生活への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ終息はまだみえず、医療従事者への負担増加のニュースや現実をみると、学生の不安や精神的ストレスが増したり、看護師を目指すことへのネガティブな思いが出る可能性もあるかと思う。「看護学生」という立場としても、より我慢していることも多いのではないかと思うので、少しでも多く看護師という職業への希望を持って過ごせると良いと願っている。退学生の理由が気になる。</li> <li>・経済的支援が必要な学生の増加が気になるが、看護職への志は経済的な理由でなくしっかり持っていたきたいと思う。</li> <li>・学校生活を有意義なものになるために学校行事は必要だと感じる。</li> <li>・コロナ禍であったため、学生のストレスも高かったと思う。今回を機会に学生間の交流の工夫をされるとよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は学生が豊かな学校生活を送れるよう、学生自治会活動、学校行事等の方法を工夫し行っている。それにより、学生間の交流機会も増えつつあるため、取り組みを継続する。</li> <li>・経済面で支援を要する学生について早期に把握し、必要な情報提供および支援を継続する。</li> </ul>
教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の季節休暇中や土日などでも活用しオンライン研修を受けておられ、スキルアップに努めておられると感じた。</li> <li>・臨地研修は、担当領域の変更があった時だけでなく、日頃から行っておくと関係性も保たれてよいのではないかと思う。</li> <li>・教員確保が難しい昨今だが、教員としての適正判断も慎重に考える必要があると感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン研修、学内での授業研究・授業参観を計画的に行っている。今後も取り組みを継続する。</li> <li>・今年度は精神看護学担当教員の臨地研修を8月に計画している。</li> </ul>
管理運営 財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の管理には十分気をつけていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の業務におけるマニュアル遵守を徹底する。</li> <li>・個人情報の取り扱いに関する職場研修を定期的に行う。</li> </ul>
施設設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線路沿いにあるため、電車の騒音が気になる。冷暖房完備し防音ができると良いと思う。ICT化は、新型コロナウイルス感染防止対策もあって整備がすすみ大変良かったと思う。</li> <li>・学生にとってはICT環境の設備活用は今後学びをより深めたり広げるためにも重要な役割を果たすと思う。小学校でもすでに家庭学習（webラーニング）での活用が広がっている。個別学習への活用も取り入れ、授業内容の理解度向上などにも繋げられると良いのではないかと思う。</li> <li>・Wi-Fi環境、ICT機器が整備された事は大きく評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防音設備設置は難しいため、7月から各教室においてマイクを用いた講義を実施予定である。</li> <li>・ICT機器が整備され、使用する機会が徐々に増えてきた。マニュアル作成も並行して進んでいるため、講義、学生活動などの有効活用を目指す。</li> </ul>
広報 社会貢献 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人と関わる力」をつけることが、これから必要な資質・能力であると思う。学生さんが学童保育に参加したり、福祉施設の支援員に行ったり、様々な地域と関わる活動を進めていくことが有効だと思う。</li> <li>・コロナ禍での地域活動・社会貢献は制限もあり、なかなか思うようにはすすめられないと思うが、1年以上が経過し、各所でそれぞれ感染対策もとられている今、何もかも消極的でなくても良い気がする。要請されるのを待つだけでなく、こちらからアプローチする部分があっても良いと思う。</li> <li>・コロナ禍だからこそ、地域へ感染対策の工夫など情報を提供する等の活動も検討してみたい。（学生とともに）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に各実習施設に対し、当校のボランティア活動の紹介をしている。ボランティアの申し込みがあれば協力を検討する。</li> <li>・ボランティア活動は学生自治会（ボランティア委員会）が主となり活動している。学生の取り組みを支援し、必要時、感染予防対策等の助言を行う。</li> </ul>
独自項目 寄宿舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化は仕方ないが、代替え対策など講じている。</li> <li>・県内外からの学生が集まる所で、どうしても共用部分がある中、自室については「個室」となったことは大きなメリットである。希望者全員が入寮できないこともあるという点はあるが、今後も入学生獲得へのアピールポイントとして挙げていい所だと思う。</li> <li>・寄宿舎の個室化ができた事は良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験生には学校案内、ホームページ、進学ガイダンス等とおして、現在の寮運営の状況を十分説明する。</li> <li>・寄宿舎で生活する入寮生が安全に安心して生活できるよう、職員による支援、施設整備に努める。</li> </ul>